

令和5年度 福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム vol.3

(園番号) No. 1 2 9

(園名)

森田浜保育園

カテゴリー		園での取り組み (具体的なアクション内容・それを実現するための具体的な方法・手段)	年度末達成度 (◎・○・△・×)	備考
I 子どもの育ちを保障します	幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針等に基づき、福井の豊かな環境を生かした質の高い乳幼児の教育・保育を提供します	(1) わらべうたあそびを通して情緒の安定を図り、歌、リズム、表現等や、友達とかかわる楽しさを伝える。	(1) ◎	子どもの姿や年齢に合わせて遊び方や歌い方を工夫し保育に取り入れることができた。
		(2) 保護者アンケートの実施と改善。	(2) △	今年度の保護者からの意見を参考に、来年度の保育に取り入れていきたい。
		(3) 保育カウンセラーとの連携による、気がかりな子の個別計画（支援シート）の作成と実践検討。	(3) ○	保育カウンセラーの助言を基に実践を行い気がかりな子の支援につなげることができた。
		(4) 保健だよりの配布や感染症の発生状況・対応に関する情報を提供する。	(4) ◎	換気や消毒などを行い感染予防に努めた。また感染症発生時には玄関掲示や配信にて保護者に情報提供した。
	保育者等の専門性及び資質の向上を図ります	(5) わらべうたあそびの理論や実践について園内研修を通して学び、実践をして深めていく。	(5) ○	園内研修を通じて、理論や実践を学び保育に取り入れながら、振り返りを行い、意見を次に活かした。
		(6) 人権擁護チェックリストをもとに、人権擁護について再確認を行う。	(6) ◎	人権擁護チェックリストを用いて職員間で話し合いの機会をもった。
		(7) 職員に研修開催情報を知らせ、計画的に参加できるようにする。	(7) ◎	オンライン研修は参加しやすく、多くの職員が積極的に参加することができた。
II 子育てライフを支援します	認定こども園、保育所等を利用する保護者への支援の充実を図ります	(8) 連絡帳や送迎時の対話で、情報交換や助言を行う。個人懇談、半日保育士を実施する。	(8) ◎	年2回の個人懇談に加えて、必要に応じて随時懇談を行った。未満児は半日保育士を実施した。
		(9) 園だよりやクラスだより、玄関掲示などで園の様子を伝え、家庭と一緒に子どもの育ちを支えていく。	(9) ◎	キッズビューを活用し、園だよりや写真入りの活動記録を配信することで園での様子を伝えた。
	地域子育て家庭への支援の充実を図ります	(10) 園開放を行い、親子で楽しめる遊びを提供する。	(10) ○	開催計画のほとんどを実施することができた。
		(11) 子育て支援センター、福井市のすみずみ子育てサポート事業の情報提供をする。	(11) ◎	一時保育や病児保育を行う事業所の紹介をした。
		(12) 園開放時など、保護者からの育児相談に応じる。	(12) ○	参加者の育児相談に応じ、丁寧にこたえるようにした。
III 多様な連携と協働を進めます	子育て・子育て支援のネットワークの中で認定こども園、保育所等の役割を発揮します	(13) 健康管理センターや、各専門機関と連携をとり、よりよい発達支援を行う。	(13) ◎	必要に応じて懇談をし、連携をとることができた。
		(14) 地区の子育て支援に関する連絡協議会等参加及び情報共有を行う。	(14) ◎	地域の連絡協議会に参加し情報共有することができた。
		(15) 就学先の小学校に保育所児童保育要録を送付するとともに、就学に向けての連携会議等を行う。	(15) ◎	連携会議にて情報共有をして、要録も送付した。
		(16) 地域の子育て支援についてのネットワークの強化。	(16) ×	開催が無かった。
	地域の教育・保育機能を強化します	(17) 地域の保育園、公民館と連携を取り、保育機能の強化を図る。	(17) ◎	地域の保育園と交流することができた。
IV 子育て文化を育みます	子育てへの関心を高めます	(18) 地域高齢者との交流などを通して世代間交流を推進する。	(18) ◎	ディサービス訪問を行い、地域の高齢者と交流することができた。
		(19) 地区の公民館と連携し、子育て講座を開催する。	(19) ×	日程が合わず、子育て講座を開催できなかった。
	子育て文化につながる活動を広げます	(20) 地域の文化祭や敬老会などのイベントに参加する。	(20) ○	コロナ感染症も5類になったので、イベントが開催され参加することができた。
		(21) 様々な行事を通して、わらべうたあそびを紹介する。	(21) ◎	祖父母の集いや発表会などの行事を通し、わらべうたあそびを紹介することができた。
V 安心して子どもを 生み育てる支援づくりを進めます	子ども・子育て関連3法に基づくこれからの乳幼児の教育・保育について研究を進めます	(22) 社会の動向と求められる役割についての理解を深める。	(22) ◎	不適切保育や防災研修には積極的に参加し、対応を園内で協議しながら進めることができた。
		(23) 保育研究合同発表で、一年間の園での研究を発表する。	(23) ◎	今年度のまとめと成果、来年度にむけての課題を話し合い発表の資料作成を行なった。
	社会連帯による子育て支援の仕組みづくりを進めます	(24) 「福井市の認定こども園、保育所等における質の向上のためのアクションプログラム」の実施。	(24) ○	感染症予防のため制限もあったが、柔軟に対応することができた。

《園での取り組み》 24のアクションから、取り組む内容(番号)と具体的な取り組みを記載する。

《達成度》 ◎：当初計画していた目標を大きく上回り、優れた成果を上げた。 ○：計画どおりに取り組み、概ね目標を達成することができた。 △：不足する部分や問題があった。 ×：目標を達成することができなかった。

《備考》 達成度についての特記事項や次年度に引き継ぎたいことなどを記載する。